

日本文化Ⅰ－Ⅱ

科目ナンバリング JLT-102
【Ⅲ】 選択 2単位

保田 那々子

1. 授業の概要(ねらい)

きものは日本の民族衣装とされ、現在では礼装となっているが、日本人はきものだけを装ってきたわけではない。なぜきものが民族衣装として生き残ることができたのだろうか。後期の授業では、きもの文化を支える伝統技術や、どのようにきものを装うかを概観する。

2. 授業の到達目標

・きものに関連する伝統技術や、きものの構成具を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト(13回)60%、期末試験40%

4. 教科書・参考文献

教科書

使用せず、適宜プリントを配布する。

5. 準備学修の内容

東京国立博物館の特別展「きもの Kimono」(2020年6月30日～8月23日)を閲覧するか、ホームページを閲覧しておくこと。

また、授業に関連する夏季休業中の展示は以下の通り。可能であれば、感染対策に留意しつつ訪れてほしい。

・サントリー美術館(六本木)「ART in LIFE, LIFE and BEAUTY」9月13日まで。平安から明治までの小袖、化粧道具や髪飾りの展示がある。

・江戸東京博物館(両国)「大東京の華一都市を彩るモダン文化」8月25日から11月23日まで。明治～昭和の東京の文化や装いを紹介する。

その他関連する展示があれば案内する。

6. その他履修上の注意事項

授業の理解度と態度を計るため、毎回小テストを実施する。成績評価には小テストの配分が大きいため、毎回期限までに忘れることなく解答してほしい。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス(前期の復習、きもの構造) ※のり・はさみを用意すること

【第2回】 日本の養蚕①

【第3回】 日本の養蚕②

【第4回】 日本の麻・木綿

【第5回】 きものと季節

【第6回】 日本の染織と意匠①

【第7回】 日本の染織と意匠②

【第8回】 日本の染織と意匠③

【第9回】 琉球とアイヌの装い

【第10回】 子どものきもの

【第11回】 日本の化粧と髪型

【第12回】 きもの構成具

【第13回】 きもの格とTPO

【第14回】 きものと立ち居振る舞い

【第15回】 期末試験